

JT-Q1228-c  
電気通信サービス加入者情報取得用  
網間インタフェース

Inter-network Interface for Retrieving  
Telecommunications Service Subscriber's Data  
(First Edition)

第1版

2000年11月30日制定

社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、  
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 電気通信サービス加入者情報取得用網間インタフェース

< 参考 >

### 1. 国際勧告との関連

本標準は、TTC標準JT-Q1228(第1版)にて規定されているインテリジェントネットワークを基盤に、電気通信サービス加入者に関する情報の取得にかかわる網間インタフェースに適用するプロトコルを規定している。

### 2. 上記国際勧告等に対する追加事項等

#### 2.1 オプション選択項目

なし

#### 2.2 ナショナルマター選択項目

なし

#### 2.3 先行している項目

なし

#### 2.4 追加した項目

なし

#### 2.5 削除した項目

なし

#### 2.6 その他

なし

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2000年11月30日	制定

### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

### 5. その他

- (1) 本標準は、インテリジェントネットワークアプリケーションプロトコル(INAP)を用いて、電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するにあたり必要な網間インタフェースを対象とする。
- (2) 本標準では、第1編において電気通信サービス加入者に関連する情報の提供に関する記述を行い、第2編において電気通信サービス加入者関連情報の取得に関わる網間インタフェースにおけるプロトコルを規定している。

(3) 参照している勧告、標準等

TTC標準： JT-Q764(第10版)、JT-Q951(第5版)  
JT-Q1224(第1版)、JT-Q1225(第1版)  
JT-Q1228(第1版)、JT-X520(第2版)

ITU-T勧告： X.501(1997年版)、X.511(1997年版)

## 目 次

第1編 電気通信サービス加入者に関する情報の提供	1
1. 総論	1
1.1 目的	1
1.2 本標準の範囲	1
1.3 定義及び用語	1
1.3.1 国	1
1.3.2 電気通信サービス加入者関連情報	1
1.3.3 電気通信サービス加入者関連情報提供	1
1.3.4 電気通信サービス加入者関連情報ベース提供者	1
1.3.5 電気通信サービス加入者関連情報要求者	1
2. 基本的な考え方	1
2.1 電気通信サービス加入者に関連する情報の提供にあたってのシナリオ	1
2.2 提供可能なサービス	2
2.2.1 TTC標準JT-Q951 [Ⅲ] 付属資料C	2
3. 電気通信サービス加入者に関する情報を取得するための機能	2
3.1 電気通信サービス加入者関連情報取得機能	2
4. 電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための手順	2
4.1 電気通信サービス加入者関連情報取得手順	2
第2編 電気通信サービス加入者関連情報提供のための網間プロトコル	3
1. 電気通信サービス加入者関連情報提供のための網間プロトコル標準化の範囲	3
2. 物理プレーンアーキテクチャ	3
3. 情報モデル	3
3.1 概要	3
3.2 電気通信サービス加入者関連情報ベース	3
3.2.1 情報ベース	3
3.2.1.1 国 (country)	3
3.2.1.2 電気通信サービス提供者 (telecommunicationsServiceProvider)	4
3.2.1.3 電気通信サービス加入者 (telecommunicationsServiceSubscriber)	4
3.2.2 電気通信サービス加入者関連情報モデル	5
3.2.2.1 オブジェクトクラス間の関係	5
3.2.2.2 名前形成	6
3.2.2.3 構造規則	7
3.3 電気通信サービス加入者関連情報提供セキュリティモデル	7
3.3.1 基本アクセス制御	7
4. 電気通信サービス加入者関連情報アクセス手順	8
4.1 プロトコル提供条件	8
4.1.1 SCF-SDF間インタフェースとTCサービスとの対応	8
4.2 電気通信サービス加入者関連情報取得手順	8
4.2.1 概要	8
4.2.2 詳細手順	8

5. 信号シーケンス .....	9
付属資料A 電気通信サービス加入者情報取得用網間インタフェースのためのASN. 1規定.....	13
付録I アクセス制御情報の設定例 .....	15
I.1 はじめに .....	15
I.2 任意のユーザからのアクセスに対する基本アクセス制御情報 .....	15

## 第1編 電気通信サービス加入者に関する情報の提供

### 1. 総論

#### 1.1 目的

本標準は、I N A Pを用いて電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するにあたり必要な規定を記述する。

本標準は上記規定を網間、網内に関らず記述する。

#### 1.2 本標準の範囲

本標準は以下の範囲で記述している。

- (1) 電気通信サービス加入者に関連する情報について、それを要求する電気通信サービス提供事業者網と、それを提供する電気通信サービス提供事業者網との間で、I N A PのS C F－S D Fインタフェース（T T C標準J T－Q 1 2 2 4、同1 2 2 5、同1 2 2 8）を使用し、電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための規定について記述する。
- (2) 課金についての事項は取り扱わない。

#### 1.3 定義及び用語

下記に、電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するために必要な規定を行うにあたり使用する用語と定義を示す。

##### 1.3.1 国

電気通信サービス加入者がどの国に属するかを示す。

##### 1.3.2 電気通信サービス加入者関連情報

電気通信サービス加入者に関連する情報を示す。

##### 1.3.3 電気通信サービス加入者関連情報提供

電気通信サービス加入者に関連する情報を提供することを示す。

##### 1.3.4 電気通信サービス加入者関連情報ベース提供者

電気通信サービス加入者に関連する情報ベースを提供する電気通信サービス提供事業者を示す。

##### 1.3.5 電気通信サービス加入者関連情報要求者

電気通信サービス加入者に関連する情報を要求する電気通信サービス提供事業者を示す。

## 2. 基本的な考え方

### 2.1 電気通信サービス加入者に関する情報の提供にあたってのシナリオ

電気通信サービス加入者に関する情報の提供は、マーケットニーズの展開や技術の高度化により大きく影響され、変化をたどると考えられる。そのため、電気通信サービス加入者に関する情報の提供は、ある程度長期的な展望に基づいて実現されることが望ましい。

以下に一例として現状考えられている電気通信サービス加入者に関する情報の提供サービスを示す。

## 2.2 提供可能なサービス

### 2.2.1 TTC標準JT-Q951 [Ⅲ] 付属資料C

TTC標準JT-Q951 [Ⅲ] 付属資料Cでは、発信者番号通知（CLIP）の付加サービスとして発信者に関連する情報を着信ユーザに提供する手順を記述している。このサービスを提供するにあたり、発信者に関連する情報の取得のために本標準を利用することが可能である。

## 3. 電気通信サービス加入者に関する情報を取得するための機能

### 3.1 電気通信サービス加入者関連情報取得機能

電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための機能である。

## 4. 電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための手順

本章では、3章に記述されている、電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための機能をサポートするための一般的な手順を記述する。

### 4.1 電気通信サービス加入者関連情報取得手順

基本的な、電気通信サービス加入者に関連する情報を取得するための手順は、それら自身では何ら意味を持たない手順である。これらの手順は、常に他の手順（例えばISUP信号手順（TTC標準JT-Q764））と関連付けて実行されるかもしれない。また、情報を取得するためにいくつかの情報は必須である。



## 第 2 編 電気通信サービス加入者関連情報提供のための網間プロトコル

### 1. 電気通信サービス加入者関連情報提供のための網間プロトコル標準化の範囲

データモデルにおける情報量に応じて、そのモデルは構造化する必要がある。その情報や関連する構成は電気通信サービス加入者関連情報ベースを形成する。

### 2. 物理プレーンアーキテクチャ

本編の前提とする物理プレーンアーキテクチャは、TTC標準JT-Q1225をベースとする。

### 3. 情報モデル

#### 3.1 概要

電気通信サービス加入者関連情報提供のためのデータは以下に示すデータモデルに含まれる。モデル化の目的は、第一に電気通信サービス加入者関連情報提供をサポートするために必要な全てのデータを網羅的にリストアップすること、第二にデータベースオペレーションのパラメータ利用の準備のために、できる限り一般性をもってこれらのデータを提供することである。

#### 3.2 電気通信サービス加入者関連情報ベース

##### 3.2.1 情報ベース

情報モデルは、オブジェクトクラスにおいて構造化される。オブジェクトはそれを内包するオブジェクトクラスのインスタンスである。各オブジェクトクラスは属性によって特徴付けられる。その属性はそのサービスを実行するために必要なデータを保有する。

いくつかのオブジェクトクラスは、それらの属性と同様に識別される。

以下の3種類のオブジェクトクラスはトップのサブクラスである。トップは他のクラス全てをサブクラスとする抽象クラスである。

国 (country)

電気通信サービス提供者 (telecommunications service provider)

電気通信サービス加入者 (telecommunications service subscriber)

##### 3.2.1.1 国 (country)

本オブジェクトクラスはTTC標準JT-X520にて定義されている。

```
country OBJECT-CLASS::={
    SUBCLASS OF    top
    MUST CONTAIN   {countryName}
    MAY CONTAIN    {description|
                   searchGuide}
    ID             {id-oc-country}}
```

上記の定義で示した属性の意味を以下に示す。

国名(countryName)属性は国を指定する。この属性型はディレクトリ名の要素として用いるとき、相対識別名は「country=JP」等と表記される。

### 3.2.1.2 電気通信サービス提供者 (telecommunicationsServiceProvider)

本オブジェクトクラスは、電気通信サービス提供者を定義する。その定義は以下のものを含む。

- (1) 電気通信サービス提供者を識別すること

次のようなASN. 1 記述が電気通信サービス提供者を定義するために用いられる。

**telecommunicationsServiceProvider OBJECT-CLASS::={**

**SUBCLASS OF** top  
**MUST CONTAIN** {telecommunicationsServiceProviderId}  
**ID** {ttc-objectClass 6}

**telecommunicationsServiceProviderId ATTRIBUTE::={**

**WITH SYNTAX** NumericString(SIZE(1..ub-telecommunicationsServiceProviderId))  
**EQUALITY MATCHING RULE** numericStringMatch  
**SUBSTRINGS MATCHING RULE** numericStringSubstringsMatch  
**SINGLE VALUE** TRUE  
**ID** {ttc-attributeType 28}

上記の定義で示した属性の意味を以下に示す。

telecommunicationsServiceProviderId 属性は電気通信サービス提供者を識別する。本属性には、電気通信サービス提供者の事業者識別コード（10進4桁）が設定される。

### 3.2.1.3 電気通信サービス加入者 (telecommunicationsServiceSubscriber)

本オブジェクトクラスは、電気通信サービス加入者を定義する。その定義は以下のものを含む。

- (1) 電気通信サービス番号を識別すること
- (2) 加入者名を与えること

次のようなASN. 1 記述が電気通信サービス加入者を定義するために用いられる。

**telecommunicationsServiceSubscriber OBJECT-CLASS::={**

**SUBCLASS OF** top  
**MUST CONTAIN** {telecommunicationsServiceNumber|  
telecommunicationsServiceSubscribersName}  
**ID** {ttc-objectClass 7}

**telecommunicationsServiceNumber ATTRIBUTE::={**

**SUBTYPE OF** internationalISDNNumber  
**SINGLE VALUE** TRUE  
**ID** {ttc-attributeType 29}

**telecommunicationsServiceSubscribersName ATTRIBUTE::={**  
**WITH SYNTAX**           **OCTETSTRING(SIZE(2..ub-telecommunicationsServiceSubscribersName))**  
**EQUALITY MATCHING RULE**   **octetStringMatch**  
**SINGLE VALUE**               **TRUE**  
**ID**                           **{ttc-attributeType 30}}**

上記の定義で示した属性の意味を以下に示す。

telecommunicationsServiceNumber 属性は、電気通信サービス番号を示す。

telecommunicationsServiceSubscribersName 属性は、電気通信サービス加入者名を示す。本属性のタイプは、Octet String であり、J I S 7 ビット漢字コード (J I S X 0 2 0 8) を設定可能であるものとする。

### 3.2.2 電気通信サービス加入者関連情報モデル

#### 3.2.2.1 オブジェクトクラス間の関係

図 3-1 / J T-Q 1 2 2 8-c は、電気通信サービス関連情報モデルを定義するために用いる D I T を示す。オブジェクトクラス間の線は、二つのオブジェクトクラス間の存在関係を示す。存在関係は一つのオブジェクトクラスが単独で存在しないことを表す。それは、オブジェクトクラスがある意味を持つためには図において上位に向かうことを必要とする。例えば、電気通信サービス加入者オブジェクトクラスは単独のオブジェクトクラスではなく、それは、電気通信サービス提供者オブジェクトクラスに従属する。

一つの存在関係は、一対一の関係ではない。上位オブジェクトクラスのインスタンスは下位オブジェクトクラスの複数のインスタンスと関連する。例えば、一つの電気通信サービス提供者は複数の電気通信サービス加入者と関係する。この全ての関係は一対 n の関係を持つ。

上位クラスのインスタンスが存在しない場合、下位クラスのインスタンスは意味がないことを示す。

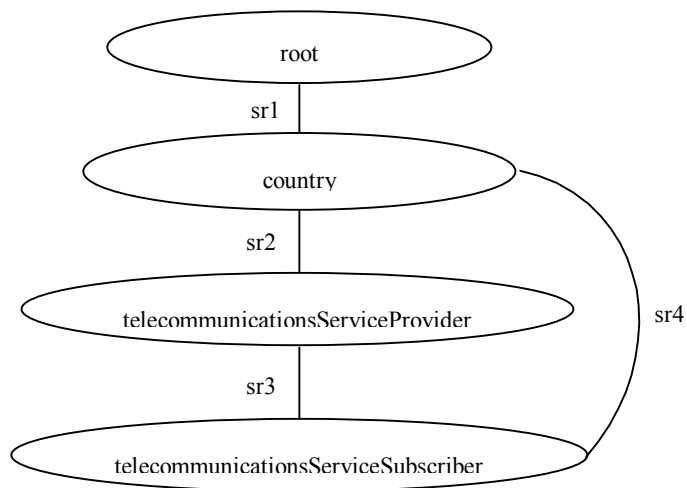


図 3-1 / JT-Q 1 2 2 8 - c 電気通信サービス加入者関連情報提供のための D I T 構成

### 3.2.2.2 名前形成

各オブジェクトクラスには、その名前形成がそのオブジェクトクラスの名前の中に含まれる属性を定義する。名前属性はそのオブジェクトクラスのインスタンスをユニークに識別するために利用される。名前属性はオブジェクトクラスの必須属性である。

**countryNameForm NAME-FORM::={**

**NAMES** country  
**WITH ATTRIBUTES** {countryName}  
**ID** {id-nf-countryNameForm}}

**telecommunicationsServiceProviderNameForm NAME-FORM::={**

**NAMES** telecommunicationsServiceProvider  
**WITH ATTRIBUTES** {telecommunicationsServiceProviderId}  
**ID** {ttc-nameForm 5}}

**telecommunicationsServiceSubscriberNameForm NAME-FORM::={**

**NAMES** telecommunicationsServiceSubscriber  
**WITH ATTRIBUTES** {telecommunicationsServiceNumber}  
**ID** {ttc-nameForm 6}}

telecommunicationsServiceProvider オブジェクトクラス内のインスタンスは、telecommunicationsServiceProviderId 属性値によりユニークに識別される。telecommunicationsServiceSubscriber オブジェクトクラス内のインスタンスは、telecommunicationsServiceNumber 属性値によりユニークに識別される。

### 3.2.2.3 構造規則

データベースにおいて、一つのデータ項目はそれが属するオブジェクトの名前により格納位置が特定される。そのオブジェクトクラスの名前は名前形成において、それより上位のオブジェクトの名前と連結される。これは、一つの階層構造がそのオブジェクトの名前を作るためにオブジェクト間に存在することを意味する。

**sr1 STRUCTURE-RULE::={**

**NAME FORM**            **countryNameForm**  
**ID**                    **1}**

**sr2 STRUCTURE-RULE::={**

**NAME FORM**            **telecommunicationsServiceProviderNameForm**  
**SUPERIOR RULES**    **{sr1}**  
**ID**                    **2}**

**sr3 STRUCTURE-RULE::={**

**NAME FORM**            **telecommunicationsServiceSubscriberNameForm**  
**SUPERIOR RULES**    **{sr2}**  
**ID**                    **3}**

**sr4 STRUCTURE-RULE::={**

**NAME FORM**            **telecommunicationsServiceSubscriberNameForm**  
**SUPERIOR RULES**    **{sr1}**  
**ID**                    **4}**

オブジェクトクラス間の関係は、図 3-1 / JT-Q 1 2 2 8 - c の線によって示される。

目的とするオブジェクトにアクセスするためには、図に定義されたパスを順にたどる必要がある。

## 3.3 電気通信サービス加入者関連情報提供セキュリティモデル

### 3.3.1 基本アクセス制御

電気通信サービス提供者は telecommunications service provider ID 属性値が自分自身を示すエン트리以下の部分木を管理する。telecommunications service subscriber オブジェクトクラスの属性のアクセス制御情報は ACIItem のセットとして表現される。各々のコンポーネントは電気通信サービス加入者関連情報ユーザとプロテクトされた情報に関して、アクセス権を許可または拒否する。

ACIItem の値には実際のアクセス制御情報が割り当てられる。

例えば、アクセス制御情報には以下の事項を含まなければならないものとして規定される。

- (1) 任意のユーザは電気通信サービス加入者エン트리内の telecommunications service subscriber name 属性を読み出し可能である。

参考として、上記のアクセス制御情報の設定例を本標準の付録 I に示す。

## 4. 電気通信サービス加入者関連情報アクセス手順

本節では電気通信サービス加入者関連情報アクセス手順を記述する。

電気通信サービス加入者関連情報提供手順は以下の事項を前提条件としている。

- (1) 電気通信サービス加入者関連情報アクセス元の網はあらかじめD I Tの構造を知っている。

### 4.1 プロトコル提供条件

本プロトコルはT T C標準J T-Q 1 2 2 8に記述されている内容を前提としている。S C Fにおけるサービス論理とI N A Pの関係についてはT T C標準J T-Q 1 2 2 8の12章に記述されている。また、T C上でのサービス提供についてはT T C標準J T-Q 1 2 2 8の7章に記述されている。

#### 4.1.1 S C F-S D F間インタフェースとT Cサービスとの対応

以下の記述における各オペレーションとT Cサービスとの対応は次のように規定される。

- (1) `directoryBind` オペレーションは、T Cのダイアログ部により実現される。また、応答(`directoryBindResult`)ならびにエラー(`directoryBindError`)も同様にT Cのダイアログ部を用いて実現される。なお、各オペレーションに必要なパラメータは、ユーザ情報内に設定する。
- (2) `inSearch` オペレーションは、T Cのコンポーネント部により実現される。また、応答およびエラーは、コンポーネント種別の結果応答およびエラー応答により実現される。

また、網間の信号数を極力削減するため、ディレクトリの結合解放をプリアレンジド終了により実現することで、結合解放のための`directoryUnbind` オペレーションを送信不要とすることも選択可能とする。

### 4.2 電気通信サービス加入者関連情報取得手順

#### 4.2.1 概要

本手順は、加入者番号を含む電気通信サービス加入者関連情報を、電気通信サービス加入者関連情報要求者が電気通信サービス加入者情報ベース提供者から取得するために用いられる。本手順は、`DirectoryBind` および`Search` オペレーションによって構成される。

#### 4.2.2 詳細手順

電気通信サービス加入者関連情報要求者のS C Fはサービス論理から結合要求があると、Idle 状態からWait for subsequent requests 状態に遷移する。その後、`DirectoryBind` オペレーションを形式化し電気通信サービス加入者情報ベース提供者のS D Fへ転送することによってS D Fとの結合を要求する。`DirectoryBind` オペレーション転送後、S C FはWait for subsequent requests 状態からWait for Bind results 状態へ遷移する。このとき、`DirectoryBind` オペレーションを受信したS D FはIdle 状態からBind Pending 状態に遷移する。S D Fは結合完了を示すために`DirectoryBindResult` を形式化し転送する。このとき、S D FはS C F Bound 状態に遷移する。

また、S C Fと結合できない場合には、S D Fは`DirectoryBindError` を形式化し、S C Fに転送する。このときS D FはIdle 状態に遷移し、S C Fと結合しない。`DirectoryBindError` はT T C標準J T-Q 1 2 2 8の16.1.28節を参照のこと。

`DirectoryBindError`を受信したS C FはS D Fとは結合せず、Wait for Bind result 状態からIdle 状態へ遷移する。この場合、以下に述べる手順は行わない。

SDFと結合されたSCFは Search オペレーションを形式化しSDFに転送することによって、電気通信サービス加入者関連情報の取得を開始する。また、SDFとの結合時に DirectoryBind オペレーションと Search オペレーションを同一のTCメッセージ上で連結して送出してもよい。この場合、DirectoryBind オペレーションが失敗した時には Search オペレーションはSDFにて実行されない。

電気通信サービス加入者関連情報は、Search オペレーション内の baseObject パラメータに電気通信サービス加入者のエントリの名前を、selection パラメータには telecommunications service subscriber name 属性を、requestor パラメータには電気通信サービス加入者関連情報要求者に割り当てられた電気通信サービス提供者の識別名を、各々設定することにより、取得することができる。

以下に電気通信サービス番号を CN1、電気通信サービス提供者を Provider1、電気通信サービス加入者関連情報要求者を Provider2 としたときの Search オペレーション内のパラメータ設定例を示す。「A=B」はオブジェクトクラスAの名前がBであることを示す。

[例]

```
baseObject      {country=JP, telecommunicationsServiceProvider=Provider1,
telecommunicationsServiceSubscriber=CN1}
selection       attributes:select:{telecommunicationsServiceSubscribersName}
requestor       {country=JP, telecommunicationsServiceProvider = Provider2}
```

SDFは要求された電気通信サービス加入者関連情報が参照可能である場合、要求されたエントリ内の telecommunications service subscriber name 属性を含めて SearchResult を形式化しSCFへ転送する。SearchResult 内の entries パラメータには電気通信サービス加入者関連情報が、performer パラメータには電気通信サービス加入者関連情報ベース提供者に割り当てられた電気通信サービス提供者の識別名がそれぞれ設定される。

また、SDFは要求された属性がSDFにて許容されていなかったり、または存在しない場合等サービスが提供不可能な場合には、以下の5つのエラーメッセージの1つを形式化し、SCFに転送する。

AttributeError  
NameError  
ServiceError  
SecurityError  
Referral

上記のエラーメッセージについてはTTC標準JT-Q1228の16.1節を参照のこと。

SDFから応答を受信したSCFは、SDFとの結合の解放をプリアレンジド終了により行うことも可能とする。その場合、SearchResult もしくは SearchError を返送したSDFも、SCFとの結合の解放をプリアレンジド終了により行う。

## 5. 信号シーケンス

本章では、SCF-SDF間における信号シーケンスを手順別に以下のように示す。

以下の信号シーケンスは個々のオペレーションを一括して送受信する場合の信号シーケンス例であり、オペレーションを個別に送受信する場合の信号シーケンスについてはその限りではない。

- 図5-1/JT-Q1228-c 電気通信サービス加入者関連情報取得手順
- 図5-2/JT-Q1228-c 電気通信サービス加入者関連情報取得手順（プリアレンジド終了あり）

図5-1/JT-Q1228-c、図5-2/JT-Q1228-cにおける信号の記法は、以下の通りである。

<X. 500シリーズオペレーション名>

ITU-T勧告X. 511にて記述されているオペレーションのアーギュメント (ARGUMENT) 部分に対応。

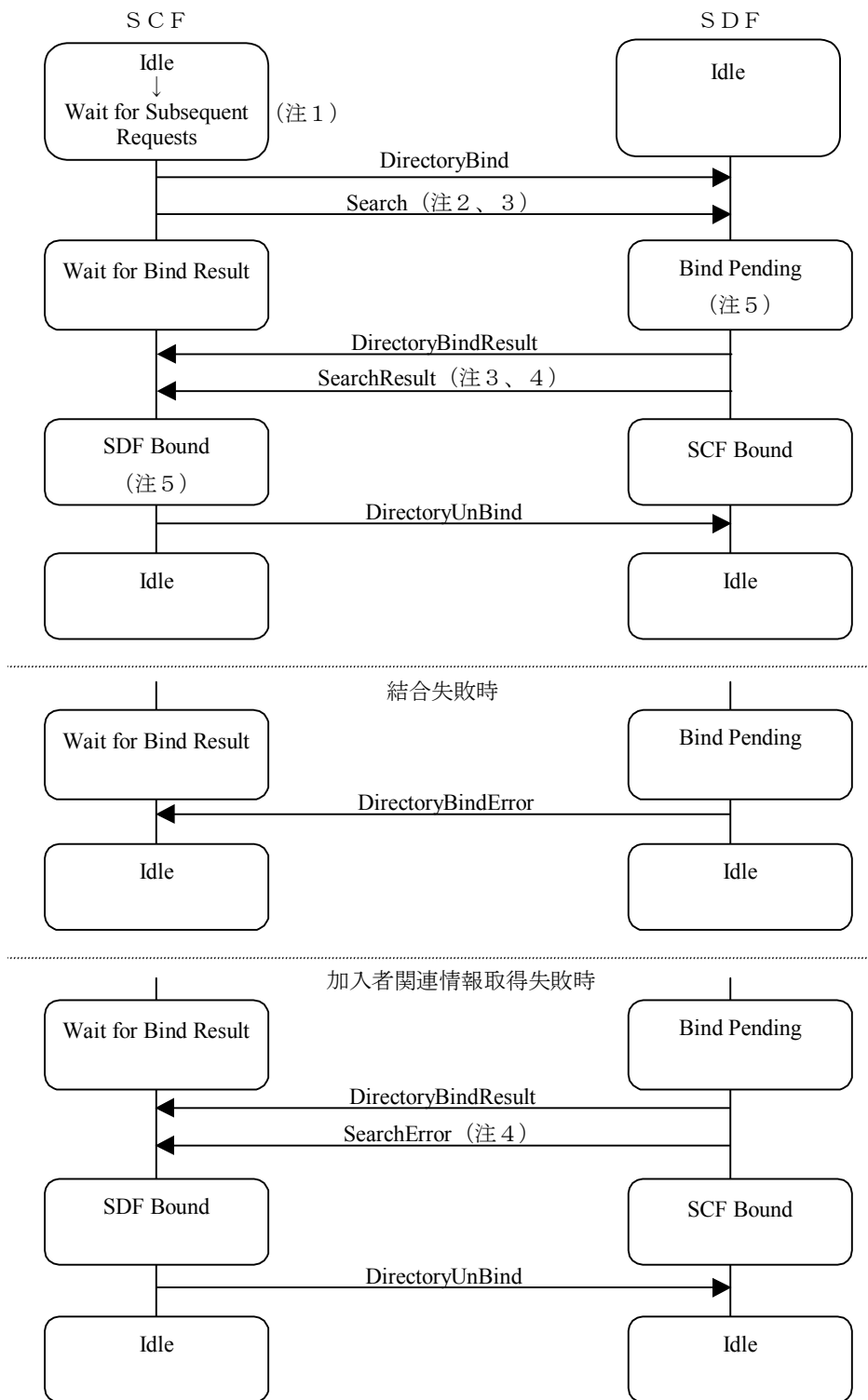
<X. 500シリーズオペレーション名>Result

ITU-T勧告X. 511にて記述されているオペレーションの結果応答 (RESULT) 部分に対応。

<X. 500シリーズオペレーション名>Error

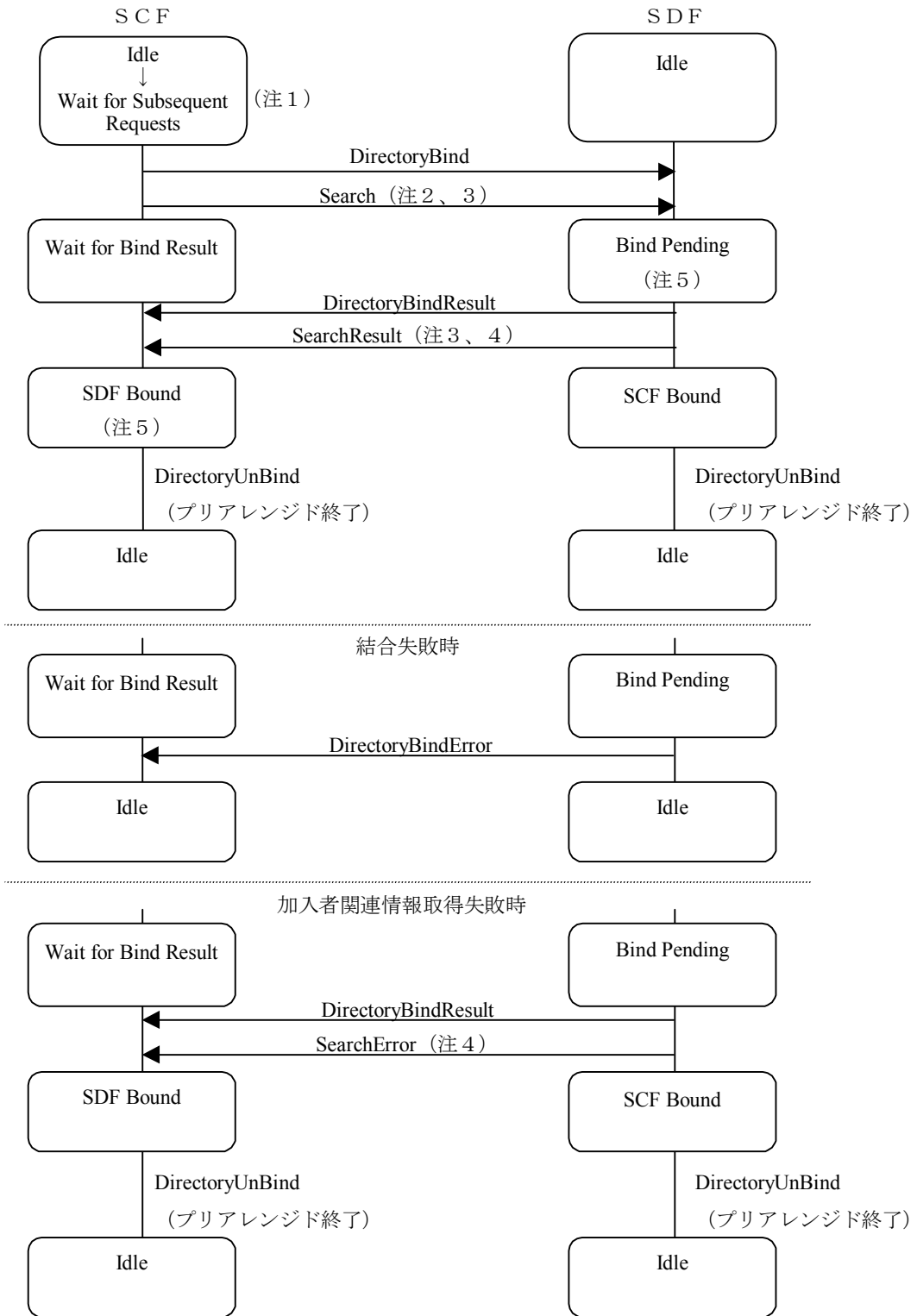
ITU-T勧告X. 511にて記述されているオペレーションのエラー (ERROR(S)) 部分に対応。





- (注1) Idle 状態から Wait for Subsequent Requests 状態への状態遷移は J T - Q 1 2 2 8 参照  
(注2) DirectoryBind と同一 T C メッセージ上で連結される  
(注3) パラメータ設定例は 4.2.2 節に示されている  
(注4) DirectoryBindResult と同一 T C メッセージ上で連結される  
(注5) 連結されたオペレーションまたは結果応答受信時の状態遷移は J T - Q 1 2 2 8 参照

図 5 - 1 / J T - Q 1 2 2 8 - c 電気通信サービス加入者関連情報取得手順



- (注1) Idle 状態から Wait for Subsequent Requests 状態への状態遷移は J T-Q 1 2 2 8 参照
- (注2) DirectoryBind と同一 T C メッセージ上で連結される
- (注3) パラメータ設定例は 4.2.2 節に示されている
- (注4) DirectoryBindResult と同一 T C メッセージ上で連結される
- (注5) 連結されたオペレーションまたは結果応答受信時の状態遷移は J T-Q 1 2 2 8 参照

図 5-2 / J T-Q 1 2 2 8-c 電気通信サービス加入者関連情報取得手順 (プリアレンジド終了あり)

付属資料 A (標準 J T - Q 1 2 2 8 - c)

本付属資料は本標準の必須部分を形成する。

電気通信サービス加入者情報取得用網間インタフェースのための A S N . 1 規定

**TTC-IN-CS2-TelecommunicationsServiceSubscribersInformationFramework**

{ itu-t(0) administration(2) japan(440) isdn(102) inapl(3) jt-q1228-c(4) module(0)

telecommunicationsServiceSubscribersInformationFramework(0) version1(0) }

**DEFINITIONS::=**

**BEGIN**

**IMPORTS**

**ATTRIBUTE, OBJECT-CLASS, NAME-FORM**

**FROM InformationFramework { joint-iso-ccitt ds(5) module(1) informationFramework(1) 3}**

**internationalISDNNumber**

**FROM SelectedAttributeTypes {joint-iso-ccitt ds(5) module(1) selectedAttributeTypes(5) 3};**

--Attribute types--

**telecommunicationsServiceProviderId ATTRIBUTE::={**

**WITH SYNTAX NumericString(SIZE(1..ub-telecommunicationsServiceProviderId))**

**EQUALITY MATCHING RULE numericStringMatch**

**SUBSTRINGS MATCHING RULE numericStringSubstringsMatch**

**SINGLE VALUE TRUE**

**ID {ttc-attributeType 28}}**

**telecommunicationsServiceNumber ATTRIBUTE::={**

**SUBTYPE OF internationalISDNNumber**

**SINGLE VALUE TRUE**

**ID {ttc-attributeType 29}}**

**telecommunicationsServiceSubscribersName ATTRIBUTE::={**

**WITH SYNTAX OCTET STRING(SIZE(2..ub-telecommunicationsServiceSubscribersName))**

**EQUALITY MATCHING RULE octetStringMatch**

**SINGLE VALUE TRUE**

**ID {ttc-attributeType 30}}**

--Object classes--

**telecommunicationsServiceProvider OBJECT-CLASS::={**

**SUBCLASS OF top**

**MUST CONTAIN {telecommunicationsServiceProviderId}**

**ID {ttc-objectClass 6}}**

**telecommunicationsServiceSubscriber OBJECT-CLASS ::= {**  
    **SUBCLASS OF**                    **top**  
    **MUST CONTAIN**                 **{telecommunicationsServiceNumber|**  
                                      **telecommunicationsServiceSubscribersName}**  
    **ID**                               **{ttc-objectClass 7}**

--Name forms--

**telecommunicationsServiceProviderNameForm NAME-FORM ::= {**  
    **NAMES**                         **telecommunicationsServiceProvider**  
    **WITH ATTRIBUTES**            **{telecommunicationsServiceProviderId}**  
    **ID**                             **{ttc-nameForm 5}**

**telecommunicationsServiceSubscriberNameForm NAME-FORM ::= {**  
    **NAMES**                         **telecommunicationsServiceSubscriber**  
    **WITH ATTRIBUTES**            **{telecommunicationsServiceNumber}**  
    **ID**                             **{ttc-nameForm 6}**

--Object identifier--

**ttc-objectClass OBJECT IDENTIFIER ::=**  
**{itu-t(0) administration(2) japan(440) ds(5) objectClass(1)}**

**ttc-attributeType OBJECT IDENTIFIER ::=**  
**{itu-t(0) administration(2) japan(440) ds(5) attributeType(2)}**

**ttc-nameForm OBJECT IDENTIFIER ::=**  
**{itu-t(0) administration(2) japan(440) ds(5) nameForm(4)}**

--Upper bounds--

**ub-telecommunicationsServiceProviderId                 INTEGER ::= 4**

**ub- telecommunicationsServiceSubscribersName        INTEGER ::= 24**

**END**

## アクセス制御情報の設定例

## I.1 はじめに

電気通信サービス提供者は、以下の内容規則によって、entryACI属性値 (ACIItem) としてアクセス制御情報をtelecommunications service subscriberオブジェクトクラスで規定されたエントリ内に格納する。

**cr1 CONTENT-RULE::={**

**STRUCTURAL OBJECT CLASS telecommunicationsServiceSubscriber**

**MAY CONTAIN {entryACI}}**

entryACI属性については、ITU-T勧告 X. 501 のANNEX Dを参照のこと。

## I.2 任意のユーザからのアクセスに対する基本アクセス制御情報

本標準第2編 3.3.1 節の条件(1)を満たす entryACI 属性の値の例を以下に示す。

<b>identificationTag</b>	<b>“Administration of entry access from Telecommunications service Subscriber User”</b>
<b>Precedence</b>	<b>10</b>
<b>UserClasses</b>	<b>{allUsers}</b>
<b>authenticationLevel</b>	<b>none</b>
<b>ProtectedItems</b>	<b>{entry}</b>
<b>GrantsAndDenials</b>	<b>{grantBrowse}</b>

“Administration of entry access from Telecommunications service Subscriber User”は任意のユーザからの電気通信サービス加入者エントリ内の属性が読み出し可能であることを示す。

<b>identificationTag</b>	<b>“Administration of attribute access from Telecommunications service Subscriber User”</b>
<b>Precedence</b>	<b>10</b>
<b>UserClasses</b>	<b>{allUsers}</b>
<b>authenticationLevel</b>	<b>none</b>
<b>ProtectedItems</b>	<b>{attributeType{telecommunicationsServiceSubscribersName}, allAttributeValues{telecommunicationsServiceSubscribersName}}</b>
<b>GrantsAndDenials</b>	<b>{grantRead}</b>

“Administration of attribute access from Telecommunications service Subscriber User”は電気通信サービス加入者関連情報取得手順にて読み出し可能な属性を規定している。

IdentificationTag, Precedence パラメータの値は電気通信サービス提供者に依存する。

## 第1版作成協力者（2000年9月28日現在）

### 第一部門委員会

委員長	菅 俊直	(株) ディーディーアイ
副委員長	和泉 俊勝	日本電信電話 (株)
副委員長	新保 勲	(株) 日立製作所
委員	小林 昌宏	東京通信ネットワーク (株)
委員	山口 健二	日本電気 (株)
委員	坪井 洋治	WG1-1委員長・富士通 (株)
委員	片野 俊樹	WG1-1副委員長・日本電信電話 (株)
委員	大塚 宗丈	WG1-2委員長・日本電信電話 (株)
委員	平野 郁也	WG1-2副委員長・日本無線 (株)
委員	堀口 勇夫	WG1-2副委員長・沖電気工業 (株)
委員	竹原 啓五	WG1-3委員長・(株) ディーディーアイ
委員	菅原 昌久	WG1-3副委員長・東日本電信電話 (株)
委員	川西 素春	WG1-3副委員長・沖電気工業 (株)
委員	高瀬 晶彦	WG1-4委員長・(株) 日立製作所
委員	奈須野 裕	WG1-4副委員長・日本テレコム (株)
委員	中島 賢二	WG1-4副委員長・東日本電信電話 (株)
委員	長山 和弘	IN委員長・日本電信電話 (株)
委員	鈴木 茂房	UPT委員長・日本電信電話 (株)
委員	吉田 龍彦	TMN委員長・日本電信電話 (株)
委員	益田 淳	TMN副委員長・(株) ディーディーアイ

(注) WG1-xx : 第一部門委員会 第 xx (xx 特別) 専門委員会

第一部門委員会 第一専門委員会

委員長	坪井 洋治	富士通 (株)
副委員長	片野 俊樹	SWG1リーダ・日本電信電話 (株)
委員	片山 直樹	ケーブル・アント・ワイレス・アソシエーション (株)
委員	谷川 裕之	(株) デイーディーアイ
委員	佐口 雅広	東京通信ネットワーク (株)
委員	奈須野 裕	日本テレコム (株)
委員	大羽 巧	日本電信電話 (株)
委員	平田 昇一	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ
委員	黄木 寛之	ジェイフォン東日本 (株)
委員	野村 忠勝	中部テレコムコミュニケーション (株)
委員	國本 佳彦	(株) ツーカーホン関西
委員	紺谷 武夫	(株) デイーディーアイ
委員	目黒 喜治	大阪メディアポート (株)
委員	近 義起	DDIポケット (株)
委員	茶谷 尚士	(株) タイタス・コミュニケーションズ
委員	羽田野 浩	東日本電信電話 (株)
委員	徳永 茂樹	西日本電信電話 (株)
委員	後藤 雅徳	沖電気工業 (株)
委員	田村 慶章	(株) 東芝
委員	長谷川 茂夫	日本ルセント・テクノロジー (株)
委員	山口 健二	日本電気 (株)
委員	境 穰	日本無線 (株)
委員	高木 淳	ホテル ネットワークス (株)
委員	新保 勲	(株) 日立製作所
委員	小川 光康	富士通 (株)
委員	大石 忠明	日本エリクソン (株)
委員	浜田 啓嗣	日本情報通信コンサルティング (株)
委員	竹原 啓五	SWG2リーダ・ (株) デイーディーアイ
特別専門委員	横田 孝弘	SWG3リーダ・ (株) デイーディーアイ
委員	野崎 雅洋	SWG4リーダ・ (株) デイーディーアイ
特別専門委員	江崎 修司	SWG5リーダ・西日本電信電話 (株)
特別専門委員	中村 誠	SWG7リーダ・ (株) デイーディーアイ
事務局	佐藤 啓次	TTC 第1技術部

J T - Q 1 2 2 8 - c 検討グループ ( S W G 5 )

リーダー*1	江崎 修司	西日本電信電話 (株)
特別専門委員	篠原 健之	(株) デイーディーアイ
特別専門委員	中村 友久	(株) デイーディーアイ
特別専門委員	増田 知範	東京通信ネットワーク (株)
特別専門委員	柳下 健二	日本テレコム (株)
特別専門委員	澤田 政宏	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ
委員	野村 忠勝	中部テレコミュニケーション (株)
特別専門委員	小林 靖明	(株) デイーディーアイ
特別専門委員	渡辺 幸雄	DD I ポケット (株)
特別専門委員	野村 浩哉	沖電気工業 (株)
特別専門委員	山口 和幸	日本電気 (株)
委員	境 穰	日本無線 (株)
特別専門委員	草場 圭三	(株) 日立製作所
特別専門委員	池田 良忠	(株) 富士通
特別専門委員	木下 裕介	三菱電機 (株)

\* 1 : 特別専門委員